

YAおすすめ
ブックリスト



としぞうから



2020年課題図書

大学の学部選び

第35号 2020.7発行
くにたち中央図書館

中高生のみんなへ

新型コロナウイルスの影響で、休校になったり部活ができなかったり、外で遊べなかったり、毎日が変わってしまったね。ストレスや不安は溜まっていない？

一息つきたいときは、図書館に来てね。勉強の合間に短い話を読みたい、家でできる趣味をもちたい、ストレスをどう発散したらいいのかわからない、などなど。図書館のYA（ワイエー）コーナーには、おすすめの本がたくさんあるよ。ただほっと一息つきたいときには、地下中庭のシンキングチェアもおすすめだよ！

としぞう



2020年課題図書

中学校の部

『天使のにもつ』 いたうみく/著、童心社

『11番目の取引』

アリッサ・ホリングスワース/作 もりうちすみこ/訳、鈴木出版

『平和のバトン：広島の高校生たちが描いた8月6日の記憶』

弓狩匡純/著、くもん出版

高等学校の部

『廉太郎ノオト』 谷津矢車/著、中央公論新社

『フラミンゴボーイ』

マイケル・モーパーゴ/作 杉田七重/訳、小学館

『キャパとゲルダ：ふたりの戦場カメラマン』

マーク・アロンソン、マリナ・ブドーズ/著
原田勝/訳、あすなろ書房



『廉太郎ノオト』

谷津矢車/著、中央公論新社

明治日本を代表する音楽家・滝廉太郎の生涯を描いた作品です。東京音楽学校(現 東京藝大)に16歳という若さで入学した廉太郎は、友やライバルと切磋

琢磨し、類い稀なる才能を開花させていきます。結核により23歳でこの世を去った天才音楽家の軌跡を、本書を読んで迎ってみてください。

『フラミンゴボーイ』

マイケル・モーパーゴ/作、杉田七重/訳、小学館
イギリスの少年ヴィンセントは、試験勉強が終わって自由を得た夏の日、南フランスに旅に出る。高熱で倒れたヴィンセントは、ロレンソとケジアに助けられる。看病を受けながら聞いたのは、第二次世界大戦末期に南フランスの農場にやってきた戦争の話。



大学の学部選び



コロナの影響でオープンキャンパスの予定が立てられない…。困った！

そんなときも、図書館へ！

志望する学部が決まった人も迷っている人も、**その学部がどんな学問を学ぶところか知っていますか？**例えば、経済学部を志望している人は、経営学と経済学の違いを言えるかな？大学に入ってから、「自分が学びたいことはこの学部じゃなかった」と気づいても、学部の転向は大変。



みんな、将来何をしたいか真剣に悩んでいる時期だよ。大学で後悔せずに勉強を楽しむために、**学びたい学問について解説した本や、その学問を学んで活躍している人の本を、ぜひ読んでみてね★** 目次だけパラパラ見たり、拾い読みをしたりするのもおすすめだよ。中学生にもわかりやすく書かれた本があるよ。



どんな学問か知ろう

『はじめて地理学～身近なところから地球の「なぜ」を解き明かす』

富田啓介／著、ベレ出版

『14歳からの天文学』福江純／著、日本評論社

YA コーナーにはどんな学問か知るための本がたくさんあります。

岩波ジュニア新書もおすすめです。

知りたい学問の本がないときは、図書館職員に声をかけてください。



学部で学ぶことを知ろう

『環境学部 中高生のための学部選びガイド』

大岳美帆／著、ペリかん社

『薬学部 中高生のための学部選びガイド』

橋口佐紀子／著、ペリかん社

「なるには BOOKS 大学学部調べ」シリーズがおすすめ！人気のシリーズのため貸出中のことが多いです。ぜひ予約して借りてみてください。

学問を究めて活躍した先輩を知ろう



『フタバスズキリュウもうひとつの物語』佐藤たまき／著、ブックマン社

この本は、小さいから恐竜が大好きだった著者が、古生物学を究めて新種の発表に至る実話です。目指す分野で活躍した先輩の本を読むと、どんな仕事をしたいか目標が見えて、勉強のやる気もアップします。